

都市計画史

1 単位 (選択)

History of Urban Planning and Design

渡辺 公次郎・助教 / 建設工学科 社会基盤工学講座

【授業目的】本講義の目的は、現代都市計画に大きな影響を及ぼしている、近代以降に世界各地で提案・実践されてきた都市計画、都市デザインの歴史を、当時の社会背景、実現のための制度等を踏まえながら振り返ることで、その意義、特徴を学ぶことである。

【授業概要】本講義では、近代に提案されてきた都市計画、都市デザインを取り上げ、時代の変遷とともにその内容、実現のための制度、当時の社会背景について説明する。

【キーワード】都市計画史、近代

【先行科目】『土木・建築史』(1.0)

【関連科目】『土木・建築史』(0.5)、『都市計画』(0.5)

【到達目標】近代以降に提案されてきた都市計画、都市デザインの意義、特徴を理解する

【授業計画】

1. ガイダンス、都市計画史を学ぶ理由
2. 海外の都市計画史 イギリス
3. 海外の都市計画史 フランス、ドイツ
4. 海外の都市計画史 その他の諸国
5. 日本の都市計画史 明治期から大正期
6. 日本の都市計画史 昭和期から終戦まで
7. 日本の都市計画史 戦後から現代
8. 試験

【成績評価基準】出欠状況と試験の成績で評価し、60 点以上を合格とする。

【参考書】

- ◇ 都市計画の世界史 (講談社現代新書 1932), 日端 康雄 (著)
- ◇ 東京の都市計画 (岩波新書), 越沢 明 (著)
- ◇ 都市計画, 日笠 端 (著), 共立出版

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216527>

【備考】授業を受ける際には、2 時間の授業時間毎に 2 時間の予習と 2 時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。